

海洋国家である日本にとって、海事産業は国民の生活や国内の様々な産業に非常に大きな貢献をしている産業です。

しかしながら、その重要性に反して船員の仕事が具体的にどういったものかはあまり知られておらず、結果として船員を目指す若い世代の人々が年々少なくなり、業界全体の高齢化が進んでいる現状にあります。

こういった現状を改善するための取組の一環として、稚内においては乗船見学会や海事講座を開催しておりますが、今回は初めて、紋別市の児童のみなさんに、船や港に関わる仕事について知ってもらい、興味を持ってもらうよう企画したものです。

当日はオホーツク・ガリンコタワー(株)の“ガリンコ号III IMERU”に乗船、紋別港を出航後海上から紋別の景色を眺めたり、普段あまり立ち入る事の出来ない船首部分で、航海を楽しんでいました。

航海が終了し紋別港へ到着した後、船内で主に船の種類を学ぶ海事講座や船での縄の結び方を学ぶロープワークを行い、船員に関するDVDを見て終了しました。

参加児童からは、「船の仕事をよく知れた」「船にいろいろな役割や種類があることがわかった」「船から見た景色がきれいだった」「縄を結ぶのが難しかった」等の感想をいただきました。

【日時】

第一回：令和3年8月25日（水）13時00分～15時30分

第二回：令和3年10月14日（木）13時00分～15時30分

【場所】

オホーツク・ガリンコタワー（株） ガリンコ号Ⅲ IMERU

【対象及び人数】

第一回：紋別市立潮見小学校児童（小学6年生44名）

第二回：紋別市立紋別小学校児童（小学6年生50名）

【主催】

北海道運輸局

北海道運輸局旭川運輸支局（稚内庁舎）

【協賛】

公益財団法人 日本海事広報協会

【協力】

オホーツク・ガリンコタワー株式会社

